



阪本 京子
(さかもと きょうこ)
自営業
趣味：読書
4人の子持ち「子育ても一段落し今後は介護に頑張ります」とのこと

心がホッと暖かくなるような家庭を

司会 在宅介護をしておられる立場からのお話を聞かせてください

阪本 今年の4月、姑が心不全で3週間入院しました。姑が退院した翌日、今度は舅が脳出血で同じ病院に2カ月間入院しました。幸い発見が早く、軽い後遺症で済みました。しかし、今度は舅の入院中に姑の右目が見えなくなり、舅の退院後、別の病院に入院して手術をしました。姑は手術を嫌がっていましたが、再び見えるようになり、ホッとしています。

度が整っていることを実感しました。昔は、当たり前のように家族が在宅介護をしていました。私の実家の祖母は長い間寝たきりの生活が続きましたが、母が農業をしながらずっと介護をしていました。そういう時代を知っているのです、今は至れり尽くせりの有難い世の中になったものだと思います。私は嫁として、親が望むのであれば、在宅で介護しようと思っっています。なぜなら、子から尊敬される親になりたいからです。人の命を大切に育てるのが育児であれば、人の命を最後まで大切に看取るのが介護だと思います。「二人ひとりの子に愛

情と共に命の尊さを教え込むのは、母親の役割である」というのが私の持論。心がホッと暖かくなるような家庭が好きです。在宅介護を通して、私もいざ行く道だからと思いつつ、自由に動ける今の体に感謝して、残りの人生を大切に生きていこうと思います。

久野 阪本さんのように意識を持つている人はいいですが、環境などの条件が悪くなれば難しくなります。親を看るのはイヤだという人もいます。ここまですらだたならできる、というところを一緒に考えていかなければなりません。介護は条件が悪くなれば難しいですが、それなりにいろいろな選択肢があることを提示するべきです。介護のハードルを低くすることも大切です。

町長 そうですね。「誰もが同じように在宅で介護しなさい」というのではなく、本人や家族が望む場合、選択肢の一つとして考えられればいいと思っっています。

山脇 患者さんの意識の違いがあるのかもしれませんが、私は、診療所に来られる人は、自分がかかりつけ医だと思っ



山脇 美香
(やまわき みか)
名和診療所所長
趣味：家庭菜園
今年4月から名和診療所所長

在宅介護ができる町づくり

阪本 かかりつけ医は診療所にお願いできるのですか？かかりつけ医は近くの病院がいいけど、入院するのは大きい病院がいいという人が多いと思います。

町長 私は、なにかあったら診療所に行くことにしています。それがかかりつけ医だと思っっています。普段からかかりつけ医との関係を作れば、受け入れ態勢はあるのではないのでしょうか。

ます。しかし、問題として、一人の医師で24時間365日対応するのは難しいです。
町長 たしかに一人の医師で24時間は無理ですね。町内で同じ思いの人があれば、関わり合いながらできると思います。

司会 大山町で24時間体制をとるには、どのような方法があるのでしょうか

久野 訪問看護が24時間対応しているのですが、必ずしも医師が直接対応しなくてもいい場合もあります。体制を整えればできる方法はあると思います。